



「がんばれることを見つけて」

校地周辺の熊出没のため、また、インフルエンザ流行のための臨時の休校があった際に、ご家庭の皆様には深いご理解と多大なるご協力をいただきました。おかげさまで、熊出没による被害もなく、インフルエンザに罹患した子どもたちも元気に登校しているところです。

さて、先日行われた全校朝会では、私の小学生から高校生時代のお話をしました。小学校低学年でおぼえた将棋では、まわりの子たちには負けることがなく「最強」を自負していたこと、しかし、高校生になって入部した将棋部では、入部当初ほとんど勝つことができなかったこと、悔しくて悔しくて、たくさんの将棋の勉強をしたこと、そして、そのがんばりが実を結び、北海道代表として大会に出場できるようになったこと、つまらないと感じたことも、がんばり続けることで楽しくなること、などについてスライドを用いながらお話ししました。



と、つまらないと感じたことも、がんばり続けることで楽しくなること、などについてスライドを用いながらお話ししました。

浜頓別小の子どもたちも、今現在たくさんのことにがんばっています。野球や柔道、テニスにバレーボールなどの各種スポーツ、ピアノなどの楽器演奏にパソコン技能、コマやけん玉、なわとびや勉強、そのほかボランティア活動に熱心に取り組んでいる姿も見られます。自分のがんばれることを見つけて、これからの人生を楽しく豊かなものにしてほしいと思っていますので、子どもたちが何にがんばるようになるのかを楽しみにしているところです。

師走を迎え、間もなく小学校も冬休みに入ります。充実した冬休みとするために、終業式では、下の3つについてお話しようと考えています。

- ① 事故に注意し、冬休みを安全に過ごすこと
- ② 家族と一緒に過ごす時間を大切に、お手伝いを進んですること
- ③ 自分のがんばることにがんばり続ける生活をする事

本号が2025年の学校だより最終となります。…少々尚早なのですが、本年も保護者・地域の皆様に大変お世話になりました。浜頓別小学校教職員一同より感謝申し上げます。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。



校長 佐藤 秀人



優しさを大切に、助け合える学級・学校へ

講師として、学校運営協議会委員・町人権擁護委員の加藤雄裕さん町人権擁護委員の佐々木秀則さんに来ていただいて、1年、3年、5年で人権教室を行いました。紙芝居を見て友達の気持ちを考える学習、人間の兄弟のやさしさ、ホタルの仲間同士のやさしさから学ぶ学習、いじめについて考え合う学習などから、やさしさと思いやりを考えていくことができました。地域の方から学んだことを生かし、やさしさいっぱい行動に移す子どもたちのこれからの姿が楽しみです。



- 12日（月）成人の日
- 16日（金）始業式
- 17日（土）算検
- 19日（月）身体測定（6年）
- 20日（火）冬休み作品展（～23日）
3・4年スキー
身体測定（5年）
- 21日（水）身体測定（4年）
宗谷美術展（稚内文化センター、～2/4（月曜日休館日））
- 22日（木）5・6年スキー
- 23日（金）今野 SC 来校
- 26日（月）全校朝会
（6年がんばり発表）
- 27日（火）3・4年スキー
- 28日（水）5・6年スキー
- 30日（金）学校運営協議会
（19：00）



- 1日（月）家庭学習強化週間（～5日）
メディア対策強化週間（～8日）
どさんこ子ども地区会議
（6年児童会）
4年視力検査（～2日）
- 2日（火）後期学校評価アンケート（～9日）
- 3日（水）PTA ミニバレー練習
- 4日（木）特別支援学級浜中生と交流
- 5日（金）児童会
通級学級巡回訪問（潮見が丘小、大山先生）
山栄産業・北洋銀行学校へプリンター寄贈
（受け取り、児童会長、副会長）
- 8日（月）個人懇談（～12日）
全校朝会（3年がんばり発表）
旭川聾学校居住地交流（1年）

- 13日（土）手をつなぐ子らの作品展（特別支援学級、9：45稚内文化センター）
- 15日（月）特別支援学級振休
- 22日（月）終業式 大掃除
クロームブック持ち帰り
- 23日（火）冬休み（～1/15）
- 29日（月）学校閉庁日（～1/3）

雪が降ってきて、道が滑りやすくなっています。人も車も滑ります。ご家庭で登下校時には、気を付けて通うことのご指導をぜひお願いします。

6年生 附属旭川小との交流

11月21日に6年生は旭川に行って、附属旭川小の児童と交流をしてきました。「浜頓別の素晴らしいこと」を、しっかり紹介することができました。大変わかりやすく、立派な発表でした。そして、附属小の6年生からは、「旭川のおすすめスポット」を教えてもらいました。浜頓別のことについては、附属小の6年生は興味津々のようでした。たくさん質問をしてくれました。そんな意欲的な附属小6年生の様子にたくさん刺激を受けて帰ってきました。帰ってきてからの6年生には自信とともに成長した様子が見えています。

